

港区区民景観セレクション グランプリ

愛宕神社参道の石段

テーマ:地形を感じる景観

選定にあたっての評価コメント

大鳥居は島木・笠木が湾曲した明神鳥居。この結界の奥に傾斜約45°石段数八十六といわれる男坂。これが登る者を無心にさせ浄化する。帰路はゆっくり女坂を下る。神社参道とはまことによく出来たシステムだ。この男坂は女坂とともにかつては江戸湾眺望で知られた愛宕山への登攀路でもあった。喧噪を離れて江戸に思いを馳せる、貴重な景観だ。

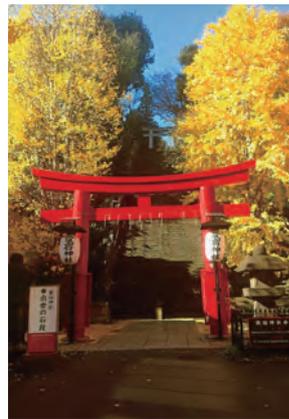
応募者からの推薦コメント

- 冬を迎え、葉の色づきも変わり始めた愛宕神社。息を切らしながら、名物でもある「出世階段」を最上段まで昇り、後ろを振りかえる。そこには「紅葉と階段の中心に煌く、立派な鳥居がこちらを見ていた。」

応募者氏名 長尾 和宜 (区内在住・在勤)

- 港区に引越して住んでいたのが、愛宕神社の真裏にあるアパートだった。あれから50年になるが、今も愛宕山の近くに住んでいる。

応募者氏名 高野 憲作 (区内在住)



港区区民景観セレクション グランプリ

麻布十番商店街にある 広場「パティオ十番」

テーマ:街かどの景観

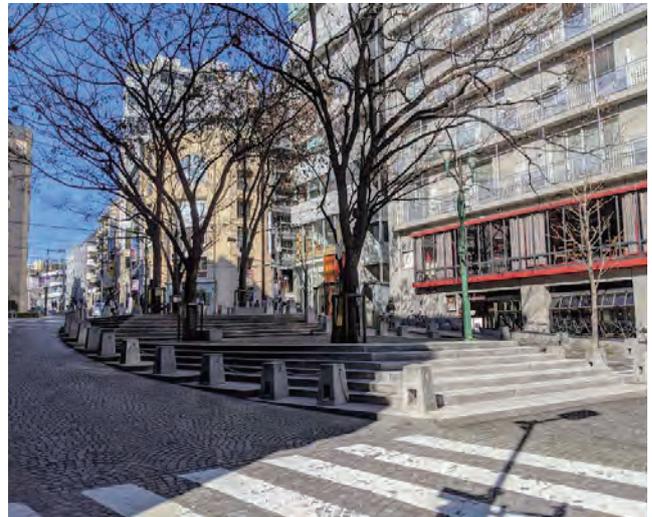
選定にあたっての評価コメント

石畳の街路と洒落た商業建築に囲まれた、起伏を活かした階段状の広場は、ヨーロッパの街を思わせる雰囲気醸し、街の中庭（パティオ）となっている。街のイベントの舞台になり、6本のクスノキが緑陰をつくり、人々の憩いの場にもなっている。麻布十番といえば思い浮かべる、小規模だけれど人々の物語の舞台となる広場である。

応募者からの推薦コメント

- いつもこの場所に来るたびに、まるでヨーロッパの街角に来たような気分になります。広場には、野口雨情の童謡「赤い靴」のモデルになった若崎きみちゃんの像があります。きみちゃんは、米国人宣教師の養女になったあと、不幸にも結核になり、麻布にある孤児院で9才で亡くなったそうです。目を閉じていると、赤い靴のきみちゃんが踊りだして、楽しそうに遊んでいる姿が浮かびます・・・

応募者氏名 芦野 武徳 (区内在勤)



港区区民景観セレクション

赤坂氷川神社 (氷川坂から)

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

氷川坂から社殿に向かう階段下から見上げると、豊かに育った大木の緑と共に神社の大きな鳥居が視界に入ります。緑の間からは気持ちの良い空の光が差し込み、起伏にとんだ地形が見せてくれる景色に喜びを感じます。

応募者からの推薦コメント

- 氷川坂の閑静な住宅街から氷川神社に入ると、大変静寂で幻想的な雰囲気になります。ここが都心だとは思えないような風情あるアプローチから丘に上がる階段を眺めると、港区の地形には高低差があるのだと改めて気付かされます。

応募者氏名 長岡 吾朗 (区内在勤)

港区区民景観セレクション

六本木さくら坂

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

六本木ヒルズのメインストリートであるけやき坂通りに並行した、奥まった緩やかな傾斜の坂道。事務所、ホテル、ブランドショップが両サイドに連なる商業色の強い通りと一線を画した、住宅や公園脇の散歩坂道景観である。桜並木ゆえ満開時は既に名所であるが、春以外にも、緑一杯のアーチを潜り抜ける散策もお勧め。

応募者からの推薦コメント

- けやき坂のイルミネーションを見たときもすごく感動したのですが、春になり、けやき坂の横にこんなにもきれいな場所があるのかと、とても印象に残っています。

応募者氏名 加藤 あゆみ (区内在住)

- 六本木ヒルズの枝道ですが、静かに桜を鑑賞できる絶景ポイント。坂を下っていく車が、桜のトンネルを抜けていくようです。(匿名)

港区区民景観セレクション

赤坂三分坂

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

三分はさんぷんと読ませるようで、荷車押しの割増賃金を指すと言われる急坂である。くの字形に折れ曲がっているのが特徴で、これに接しているTBSの敷地は近世には広島藩松平安藝守中屋敷の一部だった。近世以来の報土寺の築地塀が古色をとどめる名坂だ。

応募者からの推薦コメント

- 江戸の雰囲気と地形を今に伝えている。
- 江戸時代から続く報土寺の築地塀の白の美しさと近衛歩兵第三連隊の兵隊さんを泣かせた急な三分坂が対照的。

応募者氏名 太田 守彦 (区内在住)

- 勾配が急なため、坂を通る時、車賃を銀三分増しとしたことから名付けられたと言い、空襲にも焼け残った報土寺の練塀が美しいです。

応募者氏名 古川 久江 (区内在住)

- いつも車で通っていた三分坂を歩いて登ったら、ハードで、見上げたら青空で思わず撮影した。(匿名)

港区区民景観セレクション

有栖川宮記念公園の散策路

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

旧宮家寄贈の有栖川宮記念公園は、都立中央図書館を有する7ヘクタール弱の広さがあり、麻布台地の地形そのまま。大木が繁り、大きく傾斜した地形を溪流が流れて池に注ぐ。森の中の丸太造りの階段・小径・石造りの橋等が、趣ある風景を彩り、港区の起伏ある形状を最も象徴した景観を形成する散策路である。

応募者からの推薦コメント

孫を自転車に乗せてよく通った有栖川公園の散歩道です。橋を渡り、階段を登って、起伏のあるこの公園は孫も私も大好きなところですよ。

応募者氏名 箕輪 孝一 (区内在住)



港区区民景観セレクション

愛宕^{あいとう}隧道と愛宕山

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

標高約26mの愛宕山は23区内最高峰の天然の山。周辺を高層ビルに囲まれつつも緑いっぱいの山は溢れる生命力で季節を告げる。その緑に惹かれて歩きながら、ぽっかりと開いた愛宕隧道を見つけた人は「えっ」と足を止め「こんな都会に本物のトンネル?」。隧道と重なる桜、新緑、紅葉の景色。愛宕山と愛宕隧道は港区民の自慢!

応募者からの推薦コメント

次々と建設されるビルの間に残された、天然の山です。東京23区内最高峰の天然の山は緑が豊富です。

応募者氏名 和賀 由美 (区内在勤)



港区区民景観セレクション

南部坂

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

坂上からドイツ大使館の塀越しに見える景色は天候や季節によってさまざまな表情を見せてくれ、有栖川宮記念公園の四季の移ろいも楽しめます。険しい坂を歩きながらも一息ついて周囲の景色を楽しめる魅力のある視点場です。

応募者からの推薦コメント

かなりの急坂である。公園側の生い茂った樹木、時々変わる大使館側の壁の展示を見ながら散歩すると楽しい。

応募者氏名 岡崎 純子 (区内在住)

この場所は空の雰囲気非常に印象が変わります。ヨーロッパの夕方のようなとても落ち着く雰囲気になっています。

応募者氏名 関野 光希 (区内在学)

有栖川宮記念公園に接する南部坂

応募者氏名 徳弘 篤介 (区内在住)



港区区民景観セレクション

高浜運河から望む ライトアップされた御楯橋

テーマ:水辺の景観



選定にあたっての評価コメント

ライトアップされた御楯橋を横目に高浜運河沿緑地を歩き交うジョギングする人、犬の散歩をする人、足早に帰途を急ぐ人…。居住地として人口を増やしつつある港南エリアの夜に橋と水辺の景観が端正に浮かび、水面を染める。

応募者からの推薦コメント

・ライトアップで輝く水面、遠くに田町のビル群や東京タワーを楽しむことができます。思わず足を止めて水面に揺らぐ光の帯を見てしまいます。

応募者氏名 久住 恵介 (区内在住)

・殺風景だった夕暮れ時の運河とそこに架かる橋の佇まいが、ライトアップでぱっと賑やかになりました。思わず足を止めて見入ってしまいます。

応募者氏名 岡部 正実 (区内在住)

・夜は水辺を照らす、安心・安全のランドマークに。

応募者氏名 丸山 孝典 (区内在住)

港区区民景観セレクション

日の出棧橋倉庫群

テーマ:水辺の景観



選定にあたっての評価コメント

連続するノコギリ屋根の倉庫は、東京湾でも最も古いふ頭施設であり、独特の港らしい水辺景観を生み出している。周辺では将来大規模な開発が進むことが想定されるが、場所の記憶を想起させる貴重な景観資源として保存・活用を期待したい。

応募者からの推薦コメント

昔ながらの倉庫群で「のこぎり屋根」が印象的である。ゆりかもめ、レインボーブリッジと港の風景は変わっても、港をじっと見ている「のこぎり屋根」の倉庫風景は何事もなく生き続けて欲しい。

応募者氏名 石綿 修一 (区内在住)



港区区民景観セレクション 審査会委員総評

港区景観審議会会長
東京工業大学大学院 社会理工学研究所 教授

齋藤 潮

港区は地形の変化に富んでいる。だが、「地形を感じる景観」などという曖昧なテーマに反応があるだろうか。前回は東京タワーだっただけに不安がよぎったが、それは杞憂に終わった。応募景観には江戸以来の坂が名を連ねた。いっぽう、坂の少ない地域では水辺の景観などが掘り起こされた。さて、審査の場から一言。この企画は景観セレクションだから、どこから何がどう見えるかが重要。公園、庭園でその点が不明な応募は選外とし、次回に期待することとなった。

港区景観審議会区民委員

竹崎 典夫

4年目のメインテーマは”地形を感じる景観”。港区は埋立地を除くと起伏の多い地形で、100を超える応募状況でした。区民目線は人それぞれ。実査して見て40年近く住んでいて気付かなかった素晴らしい景観と出会う事が出来ました。定番の広大な公園景観、自然の山並みを生かした景観、起伏を活かした人々が集まる広場、新しい開発によって形成された素敵な並木の散歩道等。この様に新旧取り交ぜた景観が区民の誇りなのでしょう。是非皆様も現地へ赴き、素晴らしい景観を感じる体験をお勧めします。

港区景観アドバイザー
藤野アトリエ一級建築士事務所 主宰

藤野 珠枝

わがまち大好き区民が教えてくれる景観のひとつひとつをいとおしく眺めました。昨年からはまった運河に掛かる御榎橋のライトアップ、現在はコロナ禍の中懸命に働く医療従事者への感謝が込められたブルー。この橋を歩く方々は気づかなくとも、数百メートル離れた隣の隣の橋からその輝きに惹かれ、運河沿緑地を歩いて近寄ってみたいくなる景観を生み出しました。周辺の高層建物からもよく見えることでしょう。景観は人とともにあると感じています。

港区景観審議会副会長
工学院大学名誉教授

倉田 直道

応募景観を観ていると、港区には、多種多様な地形に係わる景観が賦存することを改めて実感する。その多くは、地域や場所の記憶に係わるものが多く、区民の地域プライドを育む存在でもある。ただこれらの景観の存在を区民が認識しているかは別で、港区は開発などにより急激に変化している地域でもあり、区民が気づかないうちにこうした景観を失う可能性も高い。区民景観セレクションが多く区民の気づきの機会になればと思う。

港区景観アドバイザー
植栽デザイナー

蓮池 ゆう子

今回のメインテーマ部門は「地形を感じる景観」です。港区は起伏のある地形が多く、坂の名所も沢山あり、23区内最高峰の天然の山もあります。急な坂や階段を下から見てぎょっとしたり、坂上から見る景色に目をみはったり。同じ名前の場所に数点の応募もありましたが、地名などが同じでも見る人が変われば視点場も変わり、やはり見る人によってお気に入りの場所が違うんだと皆様のこだわりを感じると共に、様々な視点場に気づかされました。



みどりの街づくり賞

港区環境リサイクル支援部 環境課
港区芝公園1-5-25 / 電話:03-3578-2330

景観街づくり賞・区民景観セレクション

港区街づくり支援部 都市計画課
港区芝公園1-5-25 / 電話:03-3578-2204

